

科目名	小児科学					授業の種類	講義	必修・選択	必修
授業回数	15	回	時間数	30	時間	1	単位	配当学年時期	2年 前期
<b>【授業の目的・ねらい】</b> 言語聴覚士として子供に支援を行うにあたり、子どもに関わる上で必要な子どもの健康および疾病(病気)について基礎的な知識を学修します。子どもの発育発達の基礎的な知識および発達段階に応じた心の健康問題や精神保健、さらに日常で見られる症状や疾病について学修します。									
<b>【実務者経験】</b>									
<b>【授業全体の内容の概要】</b> こどもの平均的な成長と発達およびその阻害要因、出生前～小児期における疾患について理解できる。国家試験に則した基礎知識を身につける。									
<b>【授業終了時の達成課題（到達目標）】</b> 1 子どもの保健の意義・目的を理解することができる。 2 子どもの成長・発達を理解し、子どもの健康について考えることができる。 3 子どもの成長・発達とその評価について説明できる。 4 子どもの疾患(病気)の特徴を理解し、その予防や対処方法について説明できる。 5 子どもに特徴的な疾患についてその概要を説明できる。									
回数	講義内容								準備物(教材)
1	子どもに接する専門職として「子どもの権利」について理解できる。子どもに関する保健の諸統計から現在の子どもの健康と母子保健を理解できる。								プリント配布
2	子どもの身体発育とその評価について概要を理解できる。								プリント配布
3	子どもの生理機能の発達について概要を理解できる。								プリント配布
4	子どもの脳神経系の発達について概要を理解できる。								プリント配布
5	子どもの運動機能の発達と評価について概要を理解できる。								プリント配布
6	子どもの病気の特徴及び子どもの主要症状と疾患について理解できる。								プリント配布
7	観戦と免疫の概要と予防接種について理解できる。								プリント配布
8	子どもの主な感染症の特徴と対処方法について理解できる。								プリント配布
9	新生児に多い病気についてその特徴を理解できる。								プリント配布
10	子どもの呼吸器疾患、消化器疾患の特徴とその対処方法を理解できる。								プリント配布
11	子どもの循環器疾患、内分泌・代謝疾患の特徴とその対処方法を理解できる。								プリント配布
12	子どもの神経・骨・筋肉疾患の特徴とその対処方法を理解できる。								プリント配布
13	子どもの腎・泌尿器疾患、アレルギー性疾患の特徴とその対処方法を理解できる。								プリント配布
14	子どもの発達障がいの特徴とその対処方法を理解できる。								プリント配布
15	まとめ及び補足								プリント配布
定期筆記試験									
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> 『言語聴覚士のための小児科学・発達障害学』第2版 医学書院 『言語聴覚士テキスト』改定第3版 医歯薬出版 *参考図書は随時紹介します。									
<b>【準備学習・時間外学習】</b> 授業計画に該当する部位のテキストを読んでおくこと、授業の後、学習したところを復習すること、疑問のところを調べるのが大切です。									
<b>【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】</b> 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 定期試験70点、課題の評価30点として合計100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。									